医薬品を正しく購入するための

説明文書

第2類医薬品

使用前には必ず添付文書を読んで下さい

1	名称	ピタスセキトローチ															
2	成分・分量	6個(1日使用量)中 フェノールフタリン酸デキストロメトルファン 60mg グアヤコールスルホン酸カリウム 140mg セチルピリジニウム塩化物水和物 6mg															
3	用法・用量	次の量を口中に含み、かまずにゆっくり溶かして使用すること。 <table border="1"><thead><tr><th>年齢</th><th>1回量</th><th>1日使用回数</th><th>使用間隔</th></tr></thead><tbody><tr><td>成人(15歳以上)</td><td>1個</td><td>6回</td><td>2時間以上</td></tr><tr><td>15歳未満</td><td colspan="3">使用しないこと。</td></tr></tbody></table> 〈用法・用量に関連する注意〉 (1)定められた用法・用量を厳守すること。 (2)かんだり、のみこんだりしないこと。				年齢	1回量	1日使用回数	使用間隔	成人(15歳以上)	1個	6回	2時間以上	15歳未満	使用しないこと。		
年齢	1回量	1日使用回数	使用間隔														
成人(15歳以上)	1個	6回	2時間以上														
15歳未満	使用しないこと。																
4	効能・効果	せき、たん、のどの炎症によるのどの痛み・のどのはれ・のどのあれ・のどの不快感・声がれ															
5	保健衛生上の危害を防止するために必要な事項	次の人は使用しないでください 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください 他の鎮咳去痰薬、かぜ薬、鎮静薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等 (鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等) 次の人は使用前に相談してください (1)医師の治療を受けている人。 (2)妊婦又は妊娠していると思われる人。 (3)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。 (4)次の症状のある人。高熱 使用后、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください <table border="1"><thead><tr><th>関係部位</th><th>皮膚</th><th>消化器</th><th>精神神経系</th><th>呼吸器</th></tr></thead><tbody><tr><td>症状</td><td>発疹・発赤、かゆみ</td><td>吐き気・嘔吐、食欲不振</td><td>めまい</td><td>息苦しさ、息切れ</td></tr></tbody></table>				関係部位	皮膚	消化器	精神神経系	呼吸器	症状	発疹・発赤、かゆみ	吐き気・嘔吐、食欲不振	めまい	息苦しさ、息切れ		
関係部位	皮膚	消化器	精神神経系	呼吸器													
症状	発疹・発赤、かゆみ	吐き気・嘔吐、食欲不振	めまい	息苦しさ、息切れ													

		<p>まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。 その場合は直ちに医師の診療を受けてください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>症状の名称</th> <th>症状</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ショック (アナフィラキシー)</td> <td>使用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。</td> </tr> </tbody> </table> <p>5～6回使用しても症状がよくなる場合は使用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。</p>	症状の名称	症状	ショック (アナフィラキシー)	使用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
症状の名称	症状					
ショック (アナフィラキシー)	使用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。					
6	<p>薬剤師または登録販売者が必要と判断する事項</p>					

〔注意事項〕

1. 本紙の内容は、お客様が医薬品を購入・選択時に、役立たせるために必要な情報です。
2. 法令により、要指導医薬品は必ず、第1類医薬品は薬剤師が不要と判断した場合を除いて、情報提供を行います。
3. 使用後、体調に変化等があった場合(副作用など)には使用を中止し、すぐに購入された店舗の薬剤師にご相談下さい。